

水難事故への「そなえ」を学ぶ！ デジタル学習教材 「水辺の安全学習アプリ」のご紹介

水辺の安全学習アプリとは

水難防止の一環として、学習指導要領（体育・高学年）に背浮きなど「安全確保につながる運動」が採用されました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大により、2020年度は、全国的に水泳授業を取りやめるケースが相次ぎ、昨年度は川や用水路など、住まいの周囲での子供の水難事故が増加しています。

このような状況に危機感を覚えた全国的に水難防止の体験学習・啓発機会を提供する6団体（公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団、日本赤十字社、公益財団法人河川財団、一般社団法人水難学会、公益社団法人日本水難救済会、NPO法人 川に学ぶ体験活動協議会）では、連携協力して「水難を避けるための基礎知識」について、子供たちやその保護者に、楽しみながら直感的に学んでもらえるよう、パソコンやタブレット、スマートフォンで使えるデジタル教材を制作することとしました。

使い方

「水辺の安全学習アプリ」は、水泳授業で「安全確保につながる運動」を学ぶ小学5年・6年生を主な対象として、水辺での危険予知や対策、身を守る方法について、アニメーション付きの解説で学べる無償のデジタル教材です。

基本部分は概ね15分間で学ぶことができる内容となっていますので、水泳授業で背浮きを学ぶ際の事前学習や夏休み前の安全学習、家庭学習など、学校の様々なシチュエーションに合わせた使い方ができます。また、学校だけではなく、海辺や水辺で活動している団体や組織はもちろんのこと、PTA活動や総合型スポーツクラブなどでもお使いください。

学習はメニュー1から7までとなっています。各メニューで海や川、ため池での水辺の安全について学ぶことができます。またライフジャケットの機能や落水時の対処法（背浮き）について学ぶことができます。各メニューは以下のとおりです。

項 目	内 容
メニュー1	水の事故の実態説明です
メニュー2	海での危険箇所、対処法を学びます
メニュー3	川での危険箇所、対処法を学びます
メニュー4	ため池や用水路での危険箇所、対処法を学びます
メニュー5	ライフジャケットの重要性や効果について学びます

メニュー 6	水に落ちた際の対処法（背浮き）を学びます
メニュー 7	落水者を発見した時の対処法を学びます
行動シミュレーション	ライフジャケットの着用方法や緊急連絡（119番、118番）の連絡方法などについて学びます
くわしい知識	上記メニューでは紹介できなかった更に詳しい水難事故防止について学びます ※教員や保護者、指導者向けの内容です

※メニュー 2, 3, 4 には、理解度や定着度を測る「○×クイズ」が設定されています。

※「行動シミュレーション」（緊急連絡）、「くわしい知識」は 6 月中旬オープン予定です。

本アプリは、ブラウザで動作しますので、各端末にインストールする必要はありません。動作には、アプリサーバーとの通信を行いますので、インターネットに接続してご使用ください。タブレットのホーム画面にショートカットを作成したり、ブラウザのお気に入りに登録したりすることで簡単にアクセスできるようになります。

学校授業で利用する際は、以下の 2 パターンでの利用方法を参考として各学校の授業形態に合わせてご使用ください。

児童個別で利用

授業などで、タブレットを使い各児童の理解度に応じて個別に学習を進めることができます。また、家庭学習などでもご利用いただけます。

※インターネット通信環境が必要です。

集団授業・ホームルーム等で利用

教員の PC やタブレットを大型のモニタにつないで、集団で学んでいただけます。「○×クイズ」を班などのグループで考え、答えとその理由を発表し、答え合わせするなどの利用方法も可能です。

学校利用時にはユーザー登録をお願いします

「水辺の安全学習アプリ」は無償でご利用いただけますが、小学校で利用する際は、関係省庁への報告の必要がありますので、アプリからユーザー登録をお願いします。

●水辺の安全学習アプリ仕様

メディア	PWA (Progressive Web Apps)
対応ブラウザ	Edge、Chrome、Safari 各種の最新ブラウザ
対応機種	レスポンスでPC、Tablet、スマートフォンに対応

※ブラウザで動作するため、インストール不要

●水辺の安全学習アプリ制作団体

公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団、日本赤十字社、公益財団法人 河川財団、一般社団法人水難学会、公益社団法人 本水難救済会、NPO 法人 川に学ぶ体験活動協議会

●総合監修

国立大学法人 鳴門教育大学大学院 高度学校教育実践専攻 教授 松井 敦典 氏
国立大学法人 東京海洋大学学術研究院 海事システム工学部門 准教授 田村 祐司 氏

小学校での水泳授業はもとより、夏季に多発する水難事故についての啓発の教材として、ご活用ください。

公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

水辺の安全学習アプリに関するお問い合わせ

公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団 事業部 事業課

水辺の安全学習アプリ担当

TEL:03-6402-5312 Mail:jigyo@bgf.or.jp